

競 技 注 意 事 項

- 1 競技は、2026年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項、競技注意事項により実施する。
ただし、スタートの不適切行為で、2度のイエローカードの提示を受けた競技者については、当該種目のみ失格とし、それ以降のすべての種目から除外しない。
- 2 練習は、桜ロードと高田図書館付近の芝生広場とする。ハードルなどの用器具は、備え付けの物を使用し、指定場所以外の場所では使用しないこと。投擲練習は、競技場内での公式練習のみとし、砲丸やメディシンボールを使用した練習はできない。
- 3 ユニフォームの胸部と背部に必ずアスリートピブスを安全ピン等で結着する。但し、走高跳・棒高跳・走幅跳の競技者は背又は胸の片側だけでよい。トラック種目出場者は、右腰に腰ナンバー標識を安全ピン等で結着する。但し、1500m、3000mは、主催者側で用意した物を使用すること。
- 4 招集について
 - (1) 招集所は、ゴール付近倉庫内に設ける。
 - (2) 招集時間に遅れた者は、出場できない。
 - (3) 競技者は、招集所に集合し点呼を受ける。その際、役員にアスリートピブスとスパイク、競技場内への持ち込み物品の確認を受けた後、役員の誘導に従って入場する。
 - ①トラック競技：競技開始時刻の25分前に呼び出しを開始し、15分前に完了する。
 - ②フィールド競技：競技開始時刻の40分前に呼び出しを開始し、30分前に完了する。但し、棒高跳、砲丸投については、50分前に呼び出しを開始し、40分前に完了する。
 - ③四種競技：2日間とも、1種目は招集所で招集を行う。2種目は、スタート地点またはピットに各自で集合する。時間は、トラック競技は上記の時間に準じ、フィールド競技は競技開始時刻の40分前に呼び出しを開始し、30分前に完了する。
 - (4) 2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、予めその旨を本人または、代理人が当該競技の招集完了時間前に役員に申し出ること。
- 5 トラック競技の準決勝以降の組み合わせ及び走路順は、番組編成係が決定し、掲示板に掲示する。
同タイム競技者が多数で規定の人数を超えるときには、抽選で次のラウンドに進出する競技者を決定する。但し、同組の場合は、着順優先とする。
- 6 県大会出場権を得た者で、800m以下のトラック競技及び、4×100mで止むを得ず決勝レースを棄権する場合は、予め総務に棄権届けを提出すること。
- 7 1500m、3000mの決勝については、規定の人数を超えて競技することがある。
- 8 男子400m、男女800m、リレー種目の予選はタイムレース予選とし、上位8名で決勝を行う。800mは、第2コーナーまでは、セパレートレーンで行う。
- 9 リレー種目のオーダー用紙は、予選は学校受付、決勝は競技者係（招集所）より受け取り、招集完了時刻1時間前までに招集所に1枚（2部）提出する。
- 10 低学年4×100mの走順は、学年を問わず自由とする。1年生のみ、又は2年生のみの編成も認める。
- 11 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、次の通りとする。但し、状況により変更することもある。その場合、審判長が決定する。
1位決定戦（ジャンプオフ）のためのバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳で5cmきざみとする。

走 高 跳	種 別	練 習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降、3cm きざみ	
	男 子	135	140	145	150	155	160	165	170	175	178		
女 子	115	120	125	130	135	140	143	以降、3cm きざみ					
跳	四種男子	125	130	以降、5cm きざみ									
	四種女子	110	115	以降、5cm きざみ									
棒 高 跳	男 子	200、250、300	210	220	230	・・・			400	405			以降、5cm きざみ
	女 子	180	190	200	210	・・・			320	325			

- 12 走幅跳、砲丸投の計測ラインを次のように定める。但し、状況により変更することがある。
 - (1) 走幅跳 男子： 4m80 女子：3m80
 - (2) 砲丸投 男子： 7m50 女子：6m50
- 13 男子3000mは12分00秒の制限時間を設ける。制限時間を超えた場合は、速やかにレースをやめてコース外に出ること。
- 14 表彰は閉会式の中で共通、低学年リレーの1～8位のみ集合し実施する。雨天時は1位のみ表彰する。
個人種目については競技場正面入口前で3位まで表彰する。
- 15 競技場内には、当該競技出場選手と関係役員以外は立ち入らないこと。（選手は、本部スタンド後ろを通ること）
- 16 グラウンドは全天候型のため、スパイクシューズのピンは、9mm以下とする。ただし、走高跳のみ、12mm以下を使用すること。
※高田城址公園陸上競技場（上越地区大会会場）（および長岡市宮陸上競技場（県総体会場））は、ニードルピンスパイクシューズの使用を禁止している。
- 17 シューズについて競技前、競技中に審判員が疑義を抱いた場合は競技後に審判長の権限で検査を実施することがある。
- 18 競技場用具は、会場備え付けのものを使用する。但し、棒高跳のボールは、各自持参の物を使用する。
- 19 競技中に起きた怪我については、応急手当は行うが、その後の手当についての責任は負わない。
※ 救急病院 県立中央病院 〒943-0192 上越市新南町205 ℡025-522-7711